

月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.7.20 No. 4029

千葉地域集会開催 16名結集!

新たな地域の運動を!

七月一三日千葉市民会館において、千葉運転区支部、幕張支部共催の「国鉄清算事業団闘争勝利! 大失業時代を闘う千葉地域集会」が開催された。

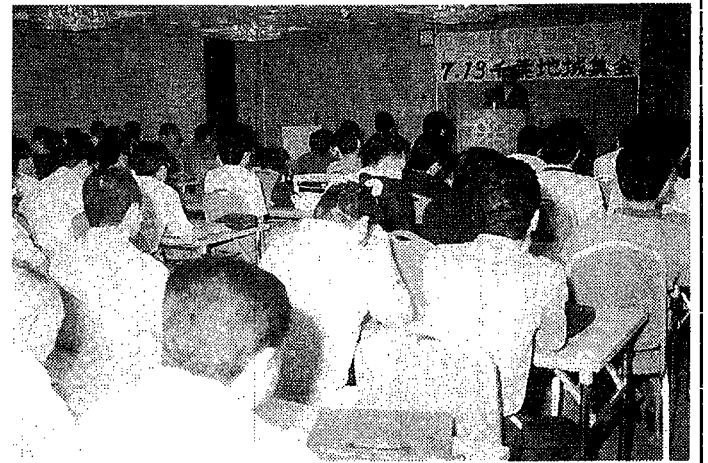
集会には、地域の仲間、組合員一六名の仲間が結集した。司会は幕張支部・白井副支部長が担当。まず、主催者を代表し、千葉運転区支部・樺支部長と幕張支部・石幡支部長があいさつを行う。

樺支部長は、「県内各地で開かれた地域集会も終盤となつてきました。地域の仲間とともに本日の集会を成功させたい。」とあいさつ。続いて石幡支部長は、「県労連センターや地区労センターの解散してしまつていく。しかし大失業時代を迎えるにあたり、国鉄闘争勝利のために新たな地域の労働運動が求められている。」とあいさつした。

続いて地域の仲間から来賓あいさつを受けた。

まず鈴木俊輔千葉市議会議員は、「今は、合理化といふことが言葉を変えてリストラと呼ばれている。しかしリストラも合理化も一緒。言葉に感わされず団結を強めていく以外ない。」と合理化反対闘争への決意を訴えられた。

また千葉市職労・松戸副委員長は、「自治体でも国鉄分割・民営化以降合理化・民間委託の攻撃がかけられている。国鉄労働者への攻撃は他人ごとではない。労働千葉とは、地域の仲間として地域問題や賃金・労働条件の向上、高齢化社会時代の課題にむけ共に取り組んでいかなければならない。」と決意を明らかにした。



続いて全農林中央食糧分会の上代書記長は「米を中心とした食糧確保のために全力で奮闘する。また、清算事業団―国家的不当労働行為は断じて許されない。合理化と対決してどう闘うかが今問われている。」とあいさつ。

来賓のあいさつの最後に国労千葉運転区分会・宇井分会長は、「闘争団の完全勝利をめざして共に頑張りよう。」とあいさつした。

続いて中野委員長長の講演を受け、両支部の解雇者の決意として相原君、後藤特別執行委員、白井協販部長、山田組織・教宣部長が決意表明した。

そして最後に御礼として千葉運転区支部・大野副支部長が「中労委命令をめぐり国鉄闘争が重要な段階となつていく。国労中央委員会で打ち出された『鉄道交通政策提言』運動は、危険な道だ。完全勝利をめざして全力で闘う。」と閉会の言葉を述べ、石幡支部長の団結カンパニーで集会は成功裡に終了した。

決意表明する

(白井氏、後藤氏、相原氏)



船橋地域集会開催 労働者の権利を守りぬく

七月一五日、一八時より、船橋市・東部公民館において、津田沼・総武・京葉支部主催による「船橋地域集会」が開催された。

集会は、船橋・習志野・八千代・市川の各地からかけつけた、国労、全通、教組、自治労、民間の仲間たち、各支部組合員六五名が見守る中、総武支部吉野書記長の司会で開始された。

まず、津田沼支部支部長より「労働法制が改悪されようとする中で、労働者の権利を守りぬく集会にしていきたい」と力強い主催者代表挨拶が行われた。

来賓挨拶では、動労千葉顧問であり船橋市議の中江氏より「労働者の権利は闘いの中で勝ち取ってきた。労働運動の再建を目指して闘おう」という訴えがあり、さらに配転差別の地労委闘争を勝利的に闘いぬく教育労働者、国労の仲間、全国一般の仲間たちから闘いの報告と連帯して闘う決意が明らかにされた。



つぎに、動労千葉を代表して田中書記長より、この間の物販等への御礼と、北朝鮮情勢、国鉄闘争を取り巻く状況と今後の運動の方向性などが六〇分にわたって提起された。

さらに、清算事業団解雇者を代表して高石君、第一波スト解雇者を代表して樺君より「闘いぬけば自分たちの時代が来る」「われわれの闘いは正義がある。二〇年でも三〇年でもストのできる組合として頑張り」とそれぞれ闘う決意を明らかにされ、満場の拍手をあげた。

最後に、山田京葉支部長のまとめの言葉、長田総武支部長の団結カンパニー三唱が行われ、集会は大成功のうちに終了した。